

2024年1月1日『令和6年能登半島地震』

～電力の安定供給に向けた労使の取組状況について～

令和8年3月6日

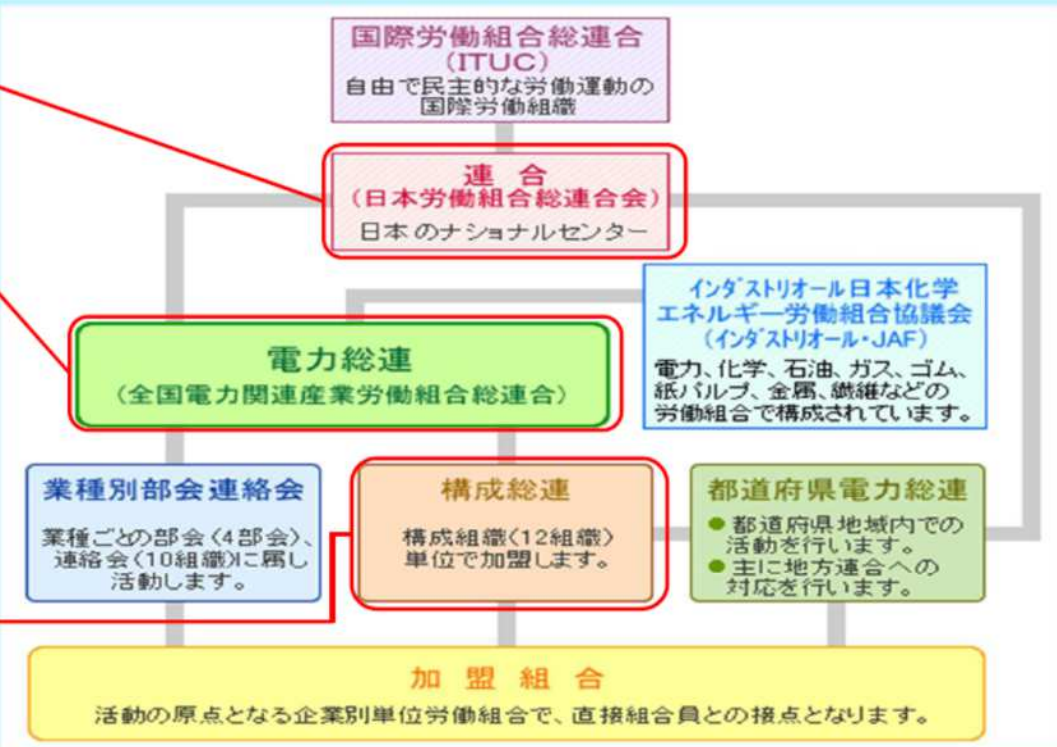
全国電力関連産業労働組合総連合

私たちの組織について

日本の労働組合のナショナルセンター
(中央労働団体)
47産業別組織・47地方連合会があり、
700万人が加盟

全国12の構成総連からなる電力関連産業に働く仲間の産業別労働組合連合の中で中核組織として活動

- ・北海道電力総連
- ・東北電力総連
- ・関東電力総連
- ・中部電力総連
- ・**北陸電力総連**
- ・関西電力総連
- ・中国電力総連
- ・四国電力総連
- ・九州電力総連
- ・沖縄電力総連
- ・原電総連
- ・電発総連



連合 700万人

電力総連 約19.4万人

私たちの組織について

— 全国の構成組織 —

日本の電力関連産業における
唯一の産業別労働組合

242単組が加盟
(2025年4月現在)



北陸電力総連

※2025年5月末現在

(全11組合)

北陸電力労組	4,653人	富山電気ビル労組	90人
北陸電気工事労組	876人	日本海コンクリート工業労組	46人
北陸プラントサービス労組	454人	北陸計器工業労組	54人
北陸電気保安協会労組	432人	日本海環境サービス労組	79人
富山共同自家発電労組	3人	北電テクノサービス労組	278人
黒部川電力労組	31人		

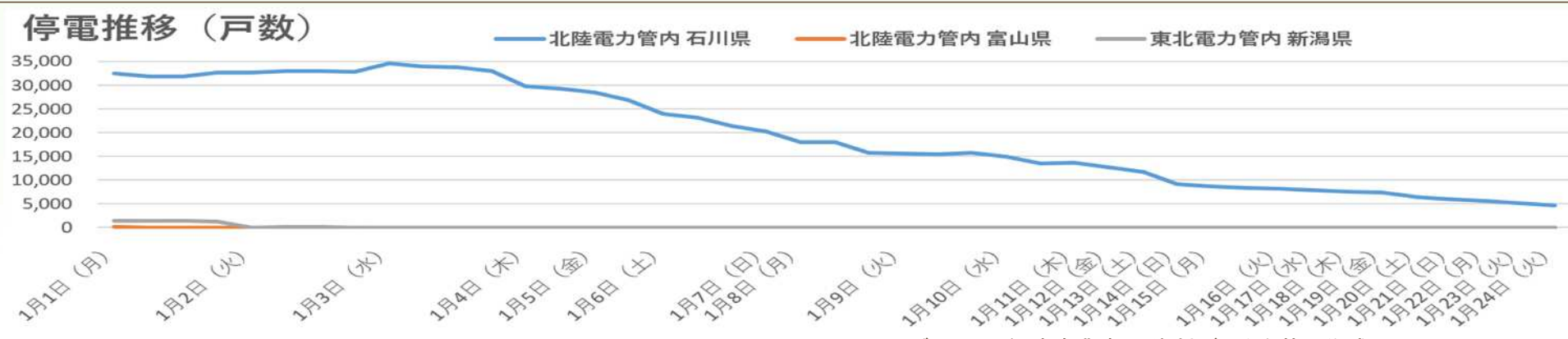
北陸電力総連 6,996人

令和6年能登半島地震の状況

発生日時	震源地	震度等
2024年1月1日 16時10分	石川県能登地方（石川県志賀町）	最大震度7（規模：マグニチュード7.6）

停電状況		地震直後の最大停電戸数 約40、000戸			
	主な地域	延べ件数	1月1日 20時時点	1月2日 10時時点	1月24日 13時時点
北陸電力	石川県（珠洲市、輪島市、志賀町等） 富山県（富山市、高岡市等）	約59、500戸 (1月9日時点)	約33、500戸	約34、100戸	約4、800戸※
東北電力	新潟県（上越市、柏崎市、刈羽村等）	6、778戸 (1月2日時点)	約1、300戸	30戸未満	復旧完了 1月2日 18:50

※土砂崩れ等により復旧作業のための立入が困難な箇所、及び地震・津波・火災により配電設備や建物に甚大な被害を受けた地区の一部を除いて、1月中に概ね停電が復旧



※グラフは、経済産業省HP資料データを基に作成

巡視状況

○ 1月5日までに完了
【珠洲市、輪島市、能登町（巡視困難箇所除く）、穴水町、志賀町、七尾市）

令和6年能登半島地震の被害状況（送配電部門）

設備被害状況

※北陸電力プレスリリースより作成(1月24日時点)

<配電設備> 電柱傾斜：約1,760本、電柱折損：約460本、断線・混線：約1,100箇所 ※供給支障あり

<送電設備> 一部送電線路にて碍子割れ、素線切れを確認 ※送変電設備被害による供給支障なし

<変電設備> 一部変電所にて変圧器、開閉装置、ブッシング、避雷器、計器用変圧器の破損を確認

<水力設備> 異常なし



※写真はSNSより



令和6年能登半島地震の復旧状況

配電設備復旧状況

- 停電復旧は復旧拠点箇所・医療機関・福祉施設・各地域の避難所等を優先して復旧を進めており、順次、復旧エリアを拡大。
- 仮復旧工事、および立入困難箇所や倒壊家屋などの配電線からの切り離しによる部分送電（商用、発電機車）を実施。
- 大・中規模(160箇所)の避難所については、立入困難箇所3箇所を除き、送電完了。
- 小規模の避難所については、73箇所中約8割送電完了。
- 学校への送電については、発電機車による仮送電中の大谷小中学校(珠洲市)を除き商用電源にて送電完了。
- 仮設住宅については、各自治体と連携・調整し、設置計画に合わせて確実に送電を行う。

日時	停電復旧（配電）	応援
1月2日(火)	・復旧作業を開始（電源車11台、人員180人）	関西電力、中部電力から人員計60名が出発準備中
1月4日(木)	・七尾市と志賀町は進入困難箇所を除き復旧済 （電源車41台、復旧人員380人）	関西、中部、東京、東北から人員計540名、電源車30台を派遣
1月6日(土)	・能登町、穴水町は、復旧工事が一定程度進展 ・輪島市、珠洲市は、道路損壊が激しく、配電設備の被害も甚大であり、作業が難航 ・他社応援部隊（関西、中部、東京、東北）を含め人員約960人で復旧中。 ・作業車両（電源車、高所作業車等）約580台で対応中	
1月24日(水)	・輪島市、珠洲市は、配電設備の被害が甚大であり、道路損壊により作業が難航。 ・中能登町以北において、他社応援部隊（関西、中部、東京、東北、北海道、中国、四国、九州）を含め、人員約1,000人規模で復旧中。 ※1/14より北海道、1/17より中国、四国、九州から追加応援 ・能登町、穴水町は、道路損壊、土砂崩れの影響を受けた一部の地域が残るのみ。 ・七尾市、志賀町はほぼ全域復旧済み。	

令和6年能登半島地震の復旧に向けた対応（設備被害状況）

設備被害状況

※被害状況：北陸電力プレスリリースより作成（1月8日時点）、復旧については順次更新

<火力設備>

○七尾大田火力発電所 1・2号（下部写真）

- 構内道路に陥没、亀裂等
- リクレーマ（石炭払出機）倒壊
（払出機とは、貯炭場に保管された石炭を発電設備へ運搬する機器）
- No.2 スタッカリクレーマ（石炭積付/払出機）のレール沈下
- No.2 アンローダ（揚炭機）がレールから脱輪（揚炭機とは、船から石炭を荷揚げする機器）
- 煙突の支持鉄塔斜材に座屈、破断
- ボイラー配管の防振器が複数箇所破断脱落

⇒ 設備故障多数のため再稼働まで1か月以上かかる見込み



○富山新港火力発電所石炭 1号 ⇒ ● 電気集塵機に不具合

⇒ 1/15改修済み

○富山新港火力発電所石炭 2号 ⇒ ● 電気集塵機に不具合

⇒ 1/8改修済み

○富山新港火力発電所 2号 ⇒ ● ボイラーケーシングからのガスリーク ⇒ 1/7改修済み

○富山火力発電所 4号 ⇒ ● 主蒸気管ハンガーに損傷 ⇒ 1/8改修済み ⇒ 1/11改修済み



払出機の倒壊・沈下



沈下



構内道路の損傷

陥没・亀裂

- 年に1度開催される会社経営層との協議会をはじめ、夏季・冬季における安全衛生推進運動などの様々な機会を通じ、安全衛生に関わる情報や災害発生時の復旧体制などについて共有を行い、日々の連携をはかることで労使の協働体制を確立しています。



北陸電力株人事労務部 吉川副部長(右)に
要請書を手渡す,北陸電力総連 下ノ村事務局長(左)

- 安全意識のさらなる向上を目的に、会社と組合が合同で現場作業の安全パトロールを行い、労使の安全意識の醸成をはかり、あらゆる場面での『災害ゼロ』をめざして取り組んでいます。



復旧に向けた全国各地からの応援状況①

災害の早期復旧への使命感は労使共通であり、全国各地から組合員が迅速に駆け付け復旧に尽力した。
1月2日(要請)～31日の期間において応援派遣要員として延べ4,754名が作業に従事した。

関西電力送配電



中部電力パワーグリッド



北陸電力送配電



東京電力パワーグリッド



東北電力ネットワーク



復旧に向けた全国各地からの応援状況②

北海道電力ネットワーク



中国電力ネットワーク



四国電力送配電



九州電力送配電



初期段階では、水回りが使えず、仮設トイレもないため、食事も控えていた

自宅等が被災しており、電気も水もないため、帰ったとしても休息が取れない

復旧が進むと、一般車両が増え、災害復旧車両が渋滞に巻き込まれ現場に到着できない

宿泊先では雑魚寝で、パーソナルスペースもなく、睡眠中も余震があり、恐怖を感じ心身とも休まることはなかった

被災地で悪質な被害があり、作業車両の窓ガラスが割られ、食料などが盗難にあった

原子力発電所に関するフェイクニュースや偽情報が散見され対応に追われた

◎作業員やその家族の多くが被災者でもあり、休息や精神的ケアに関わる声が多くあったため、労使で共有し環境改善に取り組んだ。

- 元日に発生した災害であったが、災害時連携計画に基づき、全国から延べ約4,800名の応援による復旧作業が進められ、飲食や休息もままならない状況に加え、余震が続く恐怖感・緊張感のなかでの対応であった。
- 組合員本人が被災している状況でありながら、電力関連産業に働く者としての高い使命感のもと、1日も早い復旧・復興を願い、全国各地からの応援者とともに安全最優先での作業に取り組み、無事に停電の早期復旧を成し遂げた。
- 北陸地方では過去に経験のない未曾有の大震災となり、労使で24時間体制の情報連携を実施し、組合員の意見や要望を共有しながら、現場の作業環境の改善に努めた。
- 今後も本事例を教訓とし、労使協働により災害対応能力のさらなる向上に取り組むとともに近年頻発する様々な自然災害を克服し、電力の安定供給に向け労使で努力を重ねたい。